



2021年5月13日

各 位

会社名 藤田観光株式会社
代表者名 代表取締役兼社長執行役員 伊勢 宜弘
(コード番号：9722 東証第一部)
問合せ先 取締役企画本部管掌 野崎 浩之
(TEL (03)5981-7723)

特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2021年12月期第1四半期連結累計期間（2021年1月1日から2021年3月31日）において、下記のとおり特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上について

当社グループが保有する一部の固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能価額を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、1,522百万円を特別損失として計上いたしました。

対象資産	所在地	減損損失の計上額（百万円）
寮（※）	大阪府大阪市	785
寮（※）	大阪府大東市	432
営業施設（太閤園）	大阪府大阪市	272
営業施設（その他）	—	31
合計		1,522

（※）2021年3月26日付「固定資産の譲渡及び特別損失の計上に関するお知らせ」にて開示済みです

2. 事業撤退損失引当金の計上について

営業終了が予定されている施設に関し、撤退にかかる費用を合理的に算出することが可能となったため、事業撤退損失引当金750百万円を特別損失として計上いたしました。

名称	事業撤退損失引当金の計上額（百万円）
太閤園	575
横浜伊勢佐木町ワシントンホテル	94
株Share Clapping Fukuoka	80
合計	750

3. のれん償却費の計上について

2015年に取得した連結子会社（株Share Clapping）の財務状態悪化を受け、将来の回復が見込まれないことからのれんの一括償却を行い、150百万円を特別損失として計上いたしました。

4. 事業撤退損の計上について

2021年2月28日付で営業を終了した施設（シビックスカイレストラン椿山荘）に関する事業撤退損52百万円を特別損失として計上いたしました。

5. 業績に与える影響

上記による2021年12月期の業績に与える影響等につきましては、本日公表の「2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

以 上